

解剖用献体を用いた三角繊維軟骨靱帯複合体(TFCC)のMRI 動態撮影および繊維走行についての検討

1. 研究の対象

解剖実習用献体(2025年4月1日から2026年3月31日までに提供を受けた献体を使用)

2. 研究期間

研究実施許可後～2026年3月31日まで

3. 研究目的・方法

三角繊維軟骨複合体(Triangular Fibrocartilage Complex 以下 TFCC)は手関節にある橈骨遠位関節面の尺側縁と尺骨茎状突起および尺骨小窩に張っている扇状の軟骨様組織です。手関節にある尺骨頭と近位手根骨列の間の空間を埋め、遠位橈尺関節の安定性のほかに、尺骨手根骨の支持機能、尺骨手根間のクッションなどの役割があると考えられています。TFCC 損傷は転倒や野球、テニス、ゴルフなどのスポーツ中の受傷が原因となることがあります。TFCC 損傷は手関節の不安定性や疼痛が発生し難治となることがあります。TFCC 損傷において MRI 検査は一般的に行われるが従来の 3T-MRI では損傷部位の特定を行える空間分解能はないです。TFCC の解剖学的構造はまだ不明な点があります。今回、我々は 7T-MRI にて TFCC に動的要素を加えた撮像をすることで形態学的な解明を進め、手術時における適切な再建場所や緊張度を解明していく目的の研究です。

4. 研究に用いる試料・情報

解剖実習用献体(2025年4月1日から2026年3月31日までに提供を受けた献体を使用)

〈個人情報保護〉献体保管の際には、データは個人情報を加工し、個人を特定するための情報(表)を作成します。献体のデータや氏名等の特定の個人を識別出来るような記述は削除し、代わりに新しく符号又は番号をつけて個人情報の加工を行います。研究者とこの符号(番号)を結びつける個人を特定するための情報(表)を岩手医科大学で作成し個人情報管理者は外部に漏れないように厳重に保管します。上記の試料・情報は、将来別の研究に二次利用する可能性及び他の研究機関に提供する可能性があります。

〈保存・廃棄〉研究に用いる献体は研究終了後に丁重に火葬します。研究に用いられる対象者情報は研究終了日から5年/結果公表から3年(いずれか遅い日)まで保存します。研究責任者は、研究に使用した試料を丁重に火葬する場合、特定の個人を識別することができない状態にし、丁重に火葬します。また、電子媒体についても復元不可能な状態にデータを消去します。

5. 研究費および利益相反

研究費は整形外科学講座の研究費を用いて行われます。本研究に関わる研究者は、利害関係が想定される企業等との経済的な利益関係(利益相反)はありません。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

小原崇裕

岩手医科大学医学部整形外科学講座

〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通 2-1-1

TEL:019-613-7111(内線 6562)

研究責任者：

岩手医科大学医学部整形外科学講座 村上 賢也

-----以上